



ちゅうりっぷぐみだより

2018年 11月 第3号

日中のぽかぽかとしたお日さまがより温かく感じられる程、朝晩の冷え込みに晩秋の気配が深まる頃となりました。衣服をこまめに調節しながら、これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱい戸外遊びを楽しんだり、体育ローテーション、マラソンなどを行い、丈夫な体づくりを行っていききたいと思います。



楽しかった園外保育



9月13日(木)にバスに乗って、初めての園外保育に行ってきました。数日前にバスに乗って磯原中央公園に園外保育に出掛ける事を知らせ、バスに乗る事をずっと楽しみにしていた子ども達。園外保育当日は、朝から気持ちも高まり、「まだ行かないの?」と保育士に何度も聞いていました。いよいよバスに乗って出発。しかし、バスの中では表情も硬く、皆がおしゃべりもせず静かに座り、びっくりする位シーンと静まり返っていて、何があったのかと心配になる程でした。どうやら初めての園外保育に緊張してしまったようで、「ドキドキしてきちゃったの」と教えてくれました。少しずつ緊張が解けてきて、公園に着く頃にはいつもの元気な子ども達になり、公園内を散歩したり、沢山走ったりしながら楽しむ事が出来ました。

10月23日(火)には鶉の岬公園へ。バスに乗るのも慣れたようで、バスの中では会話も弾んでいました。鶉の岬公園に到着後、池を見ると「海だ」と大喜び。散歩をしながらどんぐりや松ぼっくりを「お父さん、お母さんにお土産」と一生懸命拾っていた子ども達です。鯉に餌をあげたり、鶉にご挨拶をしてきました。帰りは疲れて眠くなってしまうかと予想しましたが、歌を歌ったり、「今日の給食は何か?」「もっと遊びたいね」とおしゃべりを弾ませ、まだまだ元気な子ども達でした。

ある日のこと・・・

保育士が絵本の片付けをしていると、子ども達が「何やってるの?」と聞いて来たので、「小さい絵本と、大きい絵本に分けて片付けをしているの」と話をしました。すると、次の日から子ども達が小さい絵本と大きい絵本に分けて片付けをするようになり、友達同士で「これはどっちかな」と相談しながら片付けている姿も見られるようになりました。些細な事ですが、大きい、小さいを理解したり、友達と相談しながら解決しようとする姿に子ども達の成長を感じました。



♪カモン ベイビィ アメリカ♪



色々な物に興味を持ち、覚えるのもとても早い子ども達。食べ物、動物、乗り物、形、数、色など遊びを通して楽しみながら触れてきました。10月に入ってからは国旗カードに挑戦し、まずは日本の国旗を見せました。子ども達から返ってきた答えは「まる!あか!」で、まだ難しいかと思いながらも、次にアメリカの国旗を出しました。保育士が「USAって言うんだよ」と話しをしていると「カモン ベイビィ アメリカ」と歌が聞こえて、いつの間にかアメリカの国旗を見せると「カモン ベイビィ」と答え、必要なアメリカは消えてしまいました。それでも繰り返し知らせていくうちに「アメリカ合衆国」と得意気に教えてくれるようになりました。アメリカを覚え、他の国旗にも興味を持つようになり、中国、ブラジル、インド、オーストラリア、カナダと、色々な国の名前を覚えています。

子ども達にとって、興味を持って自ら経験し学んだことは、身に付くのも早いものです。また、出来るようになった時の喜び、褒められた時の嬉しい気持ちは決して忘れる物ではなく、次に頑張るエネルギーになります。言葉で褒めてあげる事はもちろんですが、ぎゅっと抱きしめたり、触れ合いながら沢山褒めてあげるようにしています。色々な可能性を秘めている子ども達の「やってみよう」とする思いを大切に、やる気をどんどん引き出していけるような声掛けをしたり、経験が出来るような保育を引き続き行っていききたいと思います。